

学校だより



平成29年度 第37号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30. 2. 9

2月の俳句 立春の水ひとつぶの落ちにけり

山田 禮子

今週は、1年生が「職業人の話を聞く会」、2年生はスキー宿泊学習、そして3年生は、特色選抜の入試があり、それぞれに忙しい週となりました。本校生徒のインフルエンザの罹患は、日によって変わりますが、罹患者0名であったり、いても1、2名と非常に少なく、生徒とご家庭の予防への協力のおかげだと思えます。ただ、全国的には流行が続いていますので、今後も油断することなく、うがい、手洗いなど継続して行ってください。

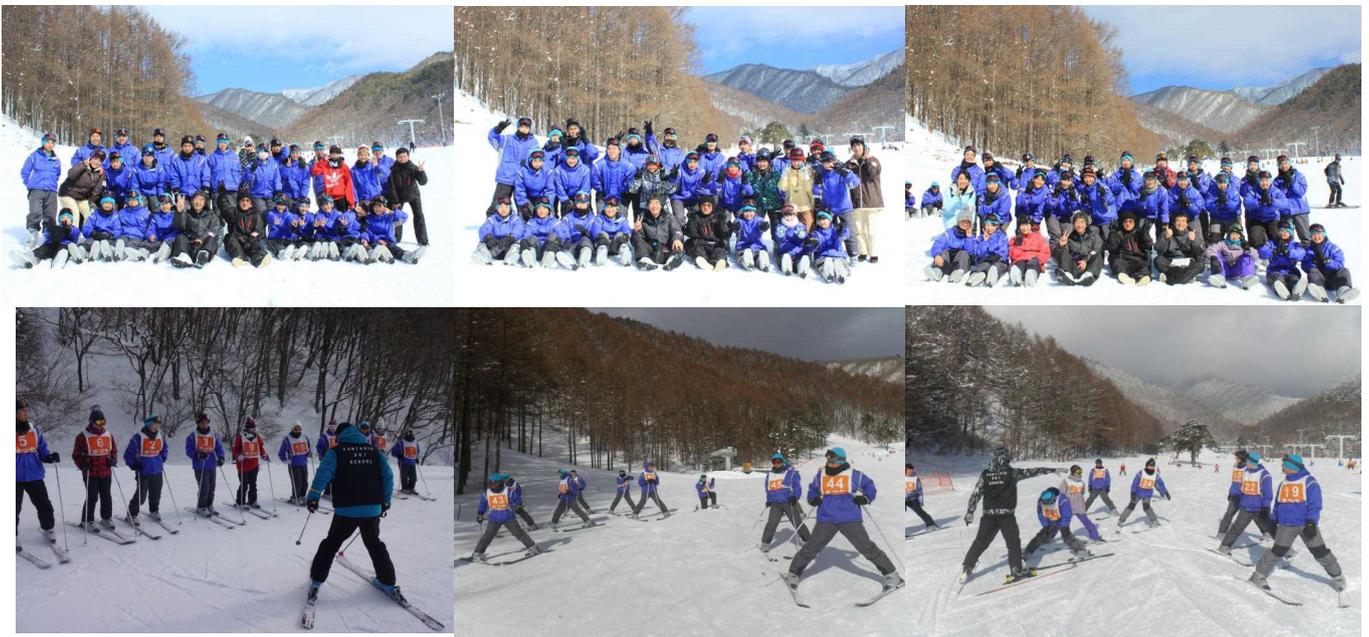
1 2年生 立志式 スキー宿泊学習

2年生は、2月4日(日)から6日(火)の3日間、スキー宿泊学習に行ってきました。2年前までは、なす高原自然の家で行っていたのですが、昨年からはより思い出に残るものにするために、会場をホテルに移しました。今年は宿泊先が猪苗代町のホテル・リステルという大きなホテルでした。一般の方や他県の中学校、高校と一緒にりましたが、これもよい経験になったと思います。ホテルなどの環境だけでなく、3日間天候にも恵まれ、ゲレンデからは壮大な猪苗代湖が眺望でき、特に2日目は貸し切りに近い状態で、思う存分スキーを楽しむことができました。参加した生徒は、大きなケガや病気もなく元気いっぱい、3日間でスキーの上達は目を見張るものがありました。

また、立志式では、それぞれが「誓いの言葉」を堂々と発表し、厳粛な態度で式に臨んでいました。そして、サプライズの第2部では、保護者の方の協力もあり、幼い時の自分の写真や、保護者からの手紙に感動し、涙ぐんでいる生徒も多くいました。本当に思い出に残る立志式になったと思います。

そして、よりすばらしかったのは、生活の態度と実行委員や係の自発的な活動です。一般の方、他校と一緒に生活でしたが、ほとんど迷惑をかけることもなく、時間やルール・マナーを意識していました。日程のほとんどを、実行委員が指示し、生徒の力で行動し、また、生徒それぞれが係の仕事を率先して行っていました。3日間一緒に生活して感じたのが、生徒の皆さんの温かさです。ひとつの言葉、ひとつの行動に仲間を思いやる気持ちがあふれていました。解散式では、自発的な態度とともに、これからの学校生活にも生かせるよう期待していることを話しました。

以下写真を掲載しますが、本校のホームページではカラーで多くの写真を紹介していますので、ぜひご覧ください。また、2月21日(水)の保護者会でも紹介できると思えます。





2 「とちぎの百様」 ジュニアコンクール 優秀賞

「とちぎの百様」とは、栃木県のブランド力の向上のために、後世に残したい、大切にしたい百の魅力ある地域資源を、雷様のように「様」をつけて擬人化し作品として作文や絵画で残す、小中学生対象のコンクールです。
本校からは、2名が、俳句・川柳部門の優秀賞に選ばれました。



3 3月の予定

- 3月6日(火) 1・2年 卒業式練習(放課後)
- 7日(水) 県立一般入試
1・2年 実力テスト
- 8日(木) 県立一般面接(実施校のみ)
1・2年 卒業式練習(放課後)
- 9日(金) 卒業式予行
- 10日(土) 卒業式
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 県立合格発表
- 22日(木) 大掃除
- 23日(金) 修了式
- 26日(月) ~4月7日(土) 春季休業
- 30日(金) 離任式



- 4月6日(金) 新任式、入学式準備
- 9日(月) 始業式、入学式

30年度の予定については、全ての行事が確定次第連絡いたします。